

2009年(平成21年)3月23日(月曜日)

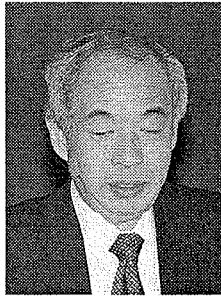
報 詳

建設トップランナーフォーラム

唐津市で「産学官連携」による地域振興

全7回の4

今回から「建設トップランナーフォーラム in 唐津」を報告する。九州初のフォーラムには全国から建設会社はもちろん、大学、自治体関係者など約200人が参加した。



和田章東京大学教授

建設トップランナーフォーラム in 唐津のスタートに当たり、代表幹事を務める東京工業大学の和田章教授と、来賓の古川康佐賀県知事が、産学官連携を地域振興につなげるための地域建設業と地方大学への期待や、地元行政の役割などについて話した。

和田章東京工業大学教授

「発想」実現へ連携が必要

今回のフォーラムは、企業、大学、行政の三位一体の協力で地域の活性化を進めていくために地方の地場建設

業と大学はどのようなか役割を果たしていかなければならぬのかを考えていくものだ。特に、地方の建設業者は市民とのネットワークもあり、地域住民

古川康佐賀県知事

地域の中心として活躍を

佐賀県内の建設業者も公共事業が年々減少を続け、厳しい経営状況にある。ただ、ここ



古川佐賀県知事

金も付いても地方公共団体が自由に使える一

き。地方がそれぞれ元気になれば日本全体も発展する。そのためには

その中心となつてが

元気がなること

急務だ。

小島義弘

日本には建設業が必要です